

令和3年度 子どもの貧困対策に関する事業 事業報告

令和3年4月1日から令和3年3月31日まで

認定特定非営利活動法人とりで

◎事業の実施に関する事項（特定非営利活動に係る事業）とその成果

【定款の事業名】

子どもの貧困対策に関する事業

【事業内容】

(1)地域の小学生から高校生までの子どもを対象とし、放課後に学習支援、土曜日に食事の提供等を行う。

活動名	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の参加人数
とりで塾	火曜日 19:00~21:00 年間実施予定回数 44回	・梅ヶ丘自治会集会所 ・愛宕供用会館	職員 5名 ボランティア 数名	延べ 924人
とりで こども食堂	土曜日 10:00~14:00 年間実施予定回数 48回	・平田供用会館 ・愛宕小学校 ・白石第一集会所	職員 16名 ボランティア 数名	延べ 2,155人
とりで モーニング	水曜日 7:00~8:00 年間実施回数 38回	・梅ヶ丘県営住宅自治 会集会所 ・愛宕小学校	職員 4名 ボランティア 数名	延べ 687人
とりで こども宅食	月 3回	・岩国市平田中学校区 周辺 ・岩国市川下中学校区 周辺 ・大竹市大竹中学校区 周辺	職員 4名 ボランティア 数名	延べ配布家庭数 575件 延べ配布弁当数 1,863個
子育て相談	随時	・電話やメール ・各事業所 ・訪問等	職員 4名	延べ相談数 426件

- (2) ・ひとり親家庭や生活保護世帯、就学援助受給世帯など特に支援が必要な子どもを対象とした学習支援を行う。

活動名	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の参加人数
みらい塾	月・水曜日 18:30~21:30 年間実施予定 回数 80 回以上	・平田供用会館 ・メディアスペース ケノービ	職員 3 名 有償支援員 4 名 ボランティア数名	延べ 758 人

《所感》

昨年度に引き続き、今年度も新型コロナウイルスの影響を常に考えさせられながらの活動展開であった。振り返って見れば幸いにも活動の中での感染やクラスターの発生がなく、ひとまずの安堵と同時に、活動に尽力してくれた職員、ボランティアさんの協力や、利用した子ども達にも感染予防への意識に感謝したい。

コロナが蔓延していた1年であったが、年間を通して活動への利用人数は一定数以上あり、コロナ禍であっても当法人の地域支援活動は地域の子育て家庭にニーズはあると確認できた。また昨年度の末から開始した宅食という形での、集合型とは違う訪問型の活動は各家庭のニーズを発見できたりと、違った切り口での支援方法の実践となった。

来年度こそ新型コロナウイルスが収束してくれるといい、また収束後は今年度の経験を活動に生かして、活動の輪を広げていきたい。